

平成30年度における大学図書館の活動概要

1. 館内環境の整備

平成30年度は日進図書館の環境整備が進んだ。建物南側に飲食可能な戸外テラス席を設置し、館内のブラインドを透過性のあるロールスクリーンに取り替え、書庫のアルミ建具部分に木目調のシートを貼り替えた。加えて、AVブース及びキャレルデスク等を始めとしたレイアウト変更を行い、これまで以上に自然光の入る明るい閲覧室への空間環境改善に取り組むことができた。一方、中央図書館では、個人キャレルデスクのLED照明化と2口コンセントの設置、ラーニングコモンズ内の書架を改装し新書用棚と2階の文庫用書架を増設できた。さらに、地下2階の大型除湿機や地下1階から地上2階までの空調機器の一部を更新した。また、両館共、館内全ての情報検索用PCの更新と入退館ゲートシステムをクラウド化した。

なお、図書館にはこうしたハード面だけでなく2.に掲げるソフト面も含め、教育研究等環境の整備に関する方針が未整備であったが、平成30年度末までに図書館運営委員会を通し、その方針を定めることができた。

2. 利用者サービスの推進

(1) 開館時間の延長

図書館におけるカウンター業務の委託化に伴って延長した開館時間も2年が経過し、現在の開館時間が標準になった。中央図書館の年間の延べ入館者数は105,859人（前年度は112,054人）だったが、図書資料の年間貸出冊数は57,595冊と、これまでの最高貸出冊数（54,351冊）を記録した前年度をさらに上回った。一方、日進図書館では延べ入館者数が26,556人（前年度は28,331人）、図書資料の年間貸出冊数は10,678冊（前年度は11,359冊）と、6～7%程度前年度を下回ることとなった。

(2) 時間外返却ブックポストの設置

返却ポストの設置から2年が経過し、延べ利用件数も中央・日進両館合わせて3,288件（昨年度：2,276件）となった。昨年度比も144.5%と利用率も上昇し、時間外返却ポストの利用も定着してきた。

また、定期的な延滞者への督促通知等の成果もあり、平成29年度10月期の資料の延滞冊数886冊に対し、平成30年度10月期現在は589冊と一定の効果が見られた。なお、平成30年度末現在では714冊であった。

(3) レファレンス・サービスの拡充

平成30年度の相談件数は、中央・日進両館合わせて4,095件/年となり、前年度の4,101件/年と比べるとほぼ横ばいだった。なお、5～7学部規模の私立大学では平均1,317件/年（平成29年度 学術情報基盤実態調査より）であるため、簡易な問い合わせも含め、本学のレファレンス・サービスは充実した結果となった。

3. 書架狭隘化対策の具現化

平成30年3月20日によく制定された「相山女学園大学図書館資料収集規準」により、オフィシャル化されたルールの下で複本や紀要類等の書架の整理・間引きが進んだ。また1.にも示したようにレイアウト変更や書架の改装等により書架も増設でき、ここ数年来の大きな課題であった書架狭隘化への対策が大きく前進した。

4. 学生ライブラリー・サポーター制度の推進

一昨年度に始まった名古屋市内の3女子大のライブラリー・サポーターの連携活動である「G3サミット」への参加については、平成30年度は見送ることになった。しかしながら、東海地区の大学図書館のサポーターたちの協働事業である「学生協働フェスタ」には積極的に参加し、ポスターセッションやプレゼンテーション等により日頃の活動を発表して他大学サポーターたちとの交流を図った。また、「選書ツアー」、大学祭での「古本販売」、館内の「企画展示」、「フリーペーパー作成」、「スタンプラリー」の企画等、これまでの活動も継続して行った。

5. 学術機関リポジトリの推進

年度末時点での公開している論文等の件数は、学術論文736件、紀要論文391件、学位論文5件、研究報告書18件、実践報告書11件、教育資料31件、学協会誌7件の合計1,199件で、年間のアクセス数は、34,722件（昨年度：15,373件）、ダウンロード数は257,664件（昨年度：77,432件）と昨年度に比べると2倍以上実績となった。今後に向けては、コンテンツ数をさらに充実させるために所属教員の機関リポジトリへの公開に対する理解と論文提供の協力をどのように得ていくかが課題である。

6. 地域社会との連携を推進

(1) 一般女性及び女子高校生等への図書館開放

一般女性への図書館開放について、平成30年度は継続28名、新規42名の合計70名（昨年度：90名）だった。一般女性への広報については、近隣の小中学校生の保護者間の口コミによるところが大きいが、女子高校生については、開放期間等の拡大が今後の検討課題である。

(2) 名古屋市図書館及び日進市図書館との連携

本学は、名古屋市図書館及び日進市立図書館との連携協定に基づく相互利用を行っており、資料貸借は、名古屋市図書館又は日進市図書館への依頼件数が21件（前年度は30件）、名古屋市図書館又は日進市図書館からの受付は10件（前年度は20件）、また文献複写については、名古屋市立図書館からの受付が4件（前年度は実績無し）であった。

7. 図書資料の収集・整備状況

本学図書館において、平成30年度の受入れを行った結果、所蔵総冊数は、図書456,290冊、学術雑誌の累積種数は2,526種となった。その詳細は、平成31年3月31日現在、下記蔵書数のとおりである。

(1) 図書（所蔵総冊数）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	290,102冊	80,968冊	371,060冊
日進図書館	68,391冊	16,839冊	85,230冊
計	358,493冊	97,797冊	456,290冊

(2) 学術雑誌（累積所蔵種数）

区分	和雑誌	洋雑誌	計
中央図書館	1,504種	682種	2,186種
日進図書館	188種	154種	342種
計	1,692種	836種	2,528種

(3) 年間図書資料受入数（製本雑誌、寄贈図書、移管受入図書を含み、廃棄資料は含まない。）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	4,095冊	408冊	4,503冊
日進図書館	923冊	69冊	992冊
計	5,018冊	477冊	5,495冊

(4) 視聴覚資料（カッコ内は廃棄点数）

区分	平成30年度受入数	計
中央図書館	448(315)点	19,893点
日進図書館	26(2)点	3,275点
計	474(317)点	23,168点

8. 利用者サービス状況

区分			中央図書館		日進図書館	
			平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 29 年度
開館日数			281	279	281	279
入館者数			105,859	112,054	26,556	28,331
貸出冊数			57,595	54,351	10,678	11,359
相互協力	文献複写	依頼件数	644	770	134	102
		受付件数	1,076	1,156	273	190
	閲覧	依頼件数	2	6	4	1
		受付件数	28	22	7	5
	相互貸借	借用	28	61	12	12
		貸出	27	33	4	2